

## 開会挨拶

姉崎 猛（内閣府大臣官房審議官）

本日はたいへんご多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

このフォーラムは、高齢化が進んでいく中で、活力ある社会を作っていくためには、高齢者ご本人の努力だけでなく、行政、社会、地域、みんなの力を合わせて取り組んでいく必要があります、そのためには関係のみなさんが一堂に会して、講演会・分科会等で情報交換をしながら知識を深めていく、そういう場が必要ではないかということで、開催いたしております。

平成 11 年度から内閣府と高齢社会 NGO 連携協議会と共催で実施してまいりました。これまでずっと東京で開催していましたが、今年から、東京と地方の 2 回に分けて開催することとなりました。その最初が福岡市で、福岡市・NPO 法人アジア・エイジング・ビジネスセンター（AABC）と共催で開催することとしております。東京とは若干趣を異にした、より地域に着目した企画・構成になっていると思います。

さて、先進国を含め多くの国々で高齢化がすすんでおりますが、なかでも日本の高齢化はスピードが早く、高齢者の割合も非常に高くなっています。平成 20 年には 75 歳以上の方が 10%を越す状況です。

福岡市をみますと、平成 21 年 3 月現在で、75 歳以上の方が 7.8%で、全国平均に比べると若い。ただ、それでも高齢化はどんどん進んでまいります。

そのような中、内閣府では、年齢にとらわれず自由でいきいきとした生活を送る高齢者や社会参加活動を積極的に送っておられる団体を、「エイジレス章」「社会参加章」として、内閣府特命大臣により表彰を行い、また広くご紹介いたしております。

今年は全国で 47 人、33 団体に表彰することといたしております。九州ブロックでは本日お見えの 5 人の方、2 つの団体に記念の楯をお送りすることとしております。

本日のフォーラムは「シニアの社会参加が時代をつくる」というテーマで、シニアが地域の中で活動していくためにはどのような問題点や課題があり、それをどうやって解





決していくかについて、講義・討議を通じて深めていただきたいと思います。

午後4時半までの長時間になりますが、本日のフォーラムが有意義な時間になりますよう祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。